

平成27年9月11日

(総15第19号)

在デンパサール日本国総領事館

1 治安情勢

インドネシア国内においては、警察当局によるテロリストの摘発が引き続き行われているほか、報道によれば中ジャワ州ソロで、独立記念日に当たる先月17日に警察署や警察官、教会、儒教寺院を攻撃することを計画していた容疑で男3名が州警察に逮捕されています。逮捕された者らはISILの関係者であるとの報道もされています。

また、先にお知らせしたとおり、ISIL(IS)が発表した機関誌「ダービク」の最新号において、世界中のイスラム教徒に対して、反ISIL(IS)連合構成国への攻撃が呼びかけられています。同記事の中で、日本も反ISIL連合構成国の一つとして言及され、ISIL域外での攻撃対象としてのいくつかの例示の中で、在ボスニア、マレーシア、インドネシアに所在する日本の外交使節(大使館等)が挙げられています。しかし、同機関誌にはその理由は明示されていません。

つきましては、引き続きテロ関係情報にはご留意頂くとともに、在留邦人の皆様には、日頃から外出時には周囲の状況に気を付ける(不審な人、不審な物がないか)等の措置をとられているとは存じますが、上記の情報を踏まえ、念のため、より一層の注意をお願いします。

2 一般情勢

(1) 狂犬病

8月30日、カランアッサムで2ヶ月前に飼い犬に咬まれた男性が狂犬病の症状により死亡(咬んだ犬については咬んだ後に死亡)し、今年に入って狂犬病による死亡者は、バリ州内で13名となりました。州内で犬に咬まれる事例は引き続き多数(1日120~125件)報告されており、さらに犠牲者の増加が懸念されます。

なお、州内での狂犬病ワクチンの在庫状況は徐々に改善されているようですが、引き続き、野犬には絶対に近づかないようにするとともに、飼い犬であっても咬まれないような注意が必要です。また、屋外を徒歩で移動する際は、周囲に警戒する、安易に動物に手を出さないなど、十分な警戒を行ってください。

(2) 麻薬・薬物への注意

インドネシア当局は、引き続き薬物犯罪の摘発を強化していますが、9月5日、覚醒剤1.5kgを持ち込もうとしたインド人が空港で逮捕されました。デンパサール市を含めバリ州各地において、インドネシア人、外国人を問わずに多数の逮捕事案が続いています。インドネシア当局は外国人に対しても死刑を含む重い判決を下しており、薬物犯罪に対し厳しい姿勢で臨んでいます。薬物の蔓延は拡大しているとの情報がありますが、薬物に安易に手を出すことは取り返しのつかない結果を招きます。麻薬・薬物には絶対に関与しないようにしてください。また、薬物が使用されているような危険な場所には近寄らないようにしてください。

3 邦人事件・事故関係

(1) ひったくり被害

件数の減少は見られるものの、依然としてオートバイに乗った犯人によるひったくり被害がバリ州のクタ・レギアン・スミニャック地区等で報告されています。最近の傾向としては、深夜・未明の繁華街だけでなく、日中・夜間の時間帯に幹線道路上においても発生が見られるようになってきています。貴重品は出来るだけ持ち歩かない、道路を歩く際は決して車道側にバックを持たないなどの自己防衛に努めて下さい。

(2) 工事中の道路・歩道に対する注意

先日、夜間に車から降車した方が工事中の歩道の穴に落下し、負傷する事案が発生しました。道路や歩道などで工事が行われ、穴があいている箇所が散見されます。注意書きの看板等が出ていない場合もありますので、通行の際はこれらに気をつけるようにして下さい。

4 その他

インドネシアへの入国について、本年6月から始まった「査証免除」と、従来からの「到着ビザ（V o A : V I S A o n A R R I V A L）」の運用につき、その後も各地で混乱等が見られますところ、以下のように入国の目的に沿った査証を取得することが肝要です。

「査証免除」は、30日以内の観光目的に限られ、かつ、インドネシアの5大国際空港（ジャカルタ、デンパサール、スラバヤ、メダン、バタム）と一部海港から出入国する場合だけに適用されます。

親族・知人訪問、就労を伴わない出張（会議出席等）などの場合、及び観光目的であっても30日を超えて滞在を延長する場合には、当初から「到着ビザ（V o A）」を取得することが必要です。

また、ジャカルタの空港のV o Aカウンターにおいて、V o A取得のため35ドルを支払ったにも関わらず領収書が手交されず、パスポートにもV o Aシールが貼付されていなかったというケースなども発生しています。入国の際には、自らの目的に沿った査証となっているかをその場で確認することをお勧めします。

■なお、インドネシアへの入国査証の詳細は、以下の在京インドネシア大使館HP をご覧下さい。

(<http://kbritokyo.jp/visa/>)

以 上